

ディプロマ・ポリシー
(学位授与の方針)

卒業時まで
身につけるべき能力

知識・理解			思考・判断		興味・関心・意欲		態度		技能・表現	
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2
医師として必要な専門分野の学問内容の知識を修得している。	卒後臨床研修に備えて、医療倫理や医療法制・医療経済、医療安全やEBM、医学における科学的手法などについての実践的な知識を有している。	自然科学にとどまらない医療人としての幅広い教養、マナーや一般常識を身につけている。	分子レベルから集団レベルまでの生命現象を解明する適切な方法を指摘し、明らかにした現象を簡潔に表現して第三者に伝えることができる。	患者と家族の身体的・心理的・社会的な健康状態および疾病の状態を把握し、情報を統合することによる適確な判断に基づいて、必要な行動を示すことができる。	都市部から中山間地域や島嶼部までを含む地域に関心をもち、将来従事する医療の領域に関わらず医師として社会に貢献する意欲をもっている。	少子高齢化、医療の国際化、健康障害の多様化など、様々な社会の医療ニーズの変化に対応して、適切な方法で最新の医学知識や医療情報を収集・整理し、生涯を通して自ら学び向上する意欲を持つことができる。	豊かな人間性を涵養し、医師としての自覚と責任、適切な倫理観をもって、患者から学ぶ姿勢で行動することができる。	医学の進歩のために基礎・社会医学と臨床医学との両面での研究が不可欠であることを認識し、自らも研究マインドをもって医療を行うことができる。	基礎的な医療行為を患者にも自らにも安全に実施することができる。	患者・家族や保健・医療・福祉チームの多様なメンバーと良好なコミュニケーション(簡単な英語によるものを含む)をとり、チームの一員としての役割を主体的に果たすことができる。

各項目に対応する科目と総括的評価、
ならびに学生の省察・自己評価
(と形成的評価)等の実施時期

6年次、臨床実習終了時	6年間で学んだ知識、特に2年間の臨床実習学んだ知識を元に、common diseasesの診療のための適切な臨床推論ができる。	医療倫理や医療法制・医療経済、医療安全やEBMについて、臨床実習で経験した事例に基づいて具体的な、実践的に述べることができる。	学内外の医療機関で自らが患者を担当する際、Student Doctorとして適切な服装やマナーについて自ら考え、実践することができる。	学内外で自らが担当した症例について、収集した身体所見や臨床検査の結果を整理し、今後の診療方針を立案した上で、問題指向型診療記録形式で電子カルテに適切に記載できる。	学内外で自らが担当した症例について、必要な身体診察を行い、その結果に基づいて必要な臨床検査を挙げ、得られた所見を総合して適切な鑑別診断を行い、さらに今後の診療方針を立案することができる。	愛媛県内の医療機関において自ら患者を担当した経験を中心に、地域社会からの期待を意識しつつ、自らが将来従事する医療の領域に関わらず医師としての社会に貢献するためのプランを述べるることができる。	学内外の医療機関での経験を踏まえ、最新の医学知識や医療情報を収集・整理する(海外からの情報を含む)とともに、学んだ知識を元にこれらの情報を批判的に評価することができる。	学内外の医療機関で勤務する様々な職種との適切な指導を受けつつ、病室等で積極的な患者に接することができる。	医師になる者としての自覚と責任感を持ち、患者から学ぶ姿勢で、謙虚に自らを律して行動できる。	学内外の医療機関において自ら患者を担当した経験を中心に、未だに未解明で研究の推進が必要と思われる領域や項目を指摘することができる。	臨床実習を通して身につけた基礎的な医療行為を、患者にも自らにも安全に実施できる。	学内外の医療機関で自ら担当した患者やその家族に対して、相手の苦痛や感情ならびにプライバシーに配慮しつつ、わかりやすい言葉を使って医療情報を説明することができる。その際、医療チームのスタッフに適切な助言を求めることができる。
	【各科目の成績】 東洋医学、症候学 【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習 【統合型卒業試験とpccOSCEによる総括的評価】	【各科目の成績】 症候学 【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習 【統合型卒業試験とpccOSCEによる総括的評価】	【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習 【統合型卒業試験とpccOSCEによる総括的評価】	【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習 【統合型卒業試験とpccOSCEによる総括的評価】	【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習 【統合型卒業試験とpccOSCEによる総括的評価】	【臨床実習での評価】 (実習態度、等) 臨床実習(特に、県内連携病院や学内での選択実習を、主体的に計画し実施する)	【臨床実習での評価】 (実習態度、等) 臨床実習(県内連携病院での実習を含む) 臨床科でのカンファレンス等への参加	【臨床実習での評価】 (実習態度、等) 臨床実習(県内連携病院での実習を含む) CPCへの参加	【臨床実習での評価】 (実習態度、等) 臨床実習(県内連携病院での実習を含む) CPCへの参加	【臨床実習での評価】 (実地試験、等) 臨床実習 【統合型卒業試験とpccOSCEによる総括的評価】	【臨床実習での評価】 (レポート、試問、等) 臨床実習 【統合型卒業試験とpccOSCEによる総括的評価】	【臨床実習での評価】 (360°評価、等) 臨床実習 【統合型卒業試験とpccOSCEによる総括的評価】
5年次、導入型実習終了時	症候学等の講義と導入型臨床実習で学んだ知識を元に、病棟や外来で担当した患者に関する臨床推論ができる。	臨床実習における医療安全について、具体的な臨床現場を想定して留意すべき項目を列挙できる。	病棟や外来での実習において、Student Doctorとして適切な服装やマナーについて自ら考え、実践することができる。	病棟や外来で経験した症例や症候について、収集した身体所見や臨床検査の結果を整理し、問題指向型診療記録形式で電子カルテに記載できる。	病棟や外来で経験した症例について、必要な身体診察を行い、その結果に基づいて必要な臨床検査を挙げ、得られた所見を総合して適切な鑑別診断を行うことができる。病棟回診時のサマリーの作成及び発表を行うことができる。	地域サテライトセンターでの臨床実習での経験を元に、愛媛県内の地域医療の課題と解決へのアプローチャを述べることができる。	最新の医学知識や医療情報を収集・整理する(EBMのための情報を含む)とともに、学んだ知識を元にこれらの情報を批判的に評価することができる。	患者から学ぶ姿勢を示し、教員から適切な指導を受けつつ、病室等で積極的に患者に接することができる。	病棟や外来での経験を元に、未だに未解明で研究の推進が必要と思われる領域や項目を指摘することができる。	臨床実習前までに学んだ医療面接や身体診察などの医療行為を、患者にも自らにも安全に実施できる。さらに、自ら行った医療行為を振り返り、改善すべき点を列挙することができる。	病棟や外来で接する患者やその家族に対して、相手の苦痛や感情ならびにプライバシーに配慮しつつ、わかりやすい言葉を使って話すことができる。その際、指導にあたる教員らに適切な助言を求めることができる。国内外の臨床実習で、留学生や患者と英語で基本的なコミュニケーションをとる機会を持つことが望ましい。	病棟や外来で接する患者やその家族に対して、相手の苦痛や感情ならびにプライバシーに配慮しつつ、わかりやすい言葉を使って話すことができる。その際、指導にあたる教員らに適切な助言を求めることができる。国内外の臨床実習で、留学生や患者と英語で基本的なコミュニケーションをとる機会を持つことが望ましい。
	【各科目の成績】 東洋医学、症候学 【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習	【各科目の成績】 医療と法律、症候学 【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習	【各科目の成績】 人間と医療 【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習	【各科目の成績】 症候学 【各臨床科での電子カルテ入力の評価】 臨床実習	【各科目の成績】 症候学 【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 【病棟カンファレンス等の発表】 臨床実習	【臨床実習での評価】 (実習態度、等) 臨床実習(地域サテライトセンターを含む) 臨床実習	【臨床実習での評価】 (実習態度、等) 臨床実習 臨床科でのカンファレンス等への参加	【各科目の成績】 人間と医療 【臨床実習での評価】 (実習態度、等) 臨床実習	【臨床実習での評価】 (実習態度、等) 臨床実習 病理解剖の見学	【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 【各臨床科での電子カルテ入力の評価】 臨床実習	【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習(地域サテライトセンターを含む) 【自己評価と学生同士の相互評価、それらに対する教員からの形成的評価】 臨床実習	【臨床実習の成績】 (レポート、試問、等) 臨床実習(地域サテライトセンターを含む) 【自己評価と学生同士の相互評価、それらに対する教員からの形成的評価】 臨床実習
4年次、臨床実習直前	社会医学系ならびに臨床医学系で学んだ知識を統合した上で、それらが実際の医療や保健活動にどのようにつながるか、患者の診療においてどのように活用できるか、具体的に説明できる。	医療倫理や医療法制・医療経済、国際医療や国際保険、医療安全やEBMについて、具体例を挙げて説明できる。	診断学実習やpreBSLで学んだことを元に、病棟や外来で留意しなければならない服装やマナーについて自ら考えた上で確実に身につけて、実践することができる。	典型的な症例について、想定される症状、身体所見や行うべき臨床検査を挙げ、患者情報を整理して電子カルテに記載できる(個人情報扱いの方、医療情報システムの仕組みの理解を含む)。	典型的な症例について、基本的な医療面接や身体診察を行い、必要な臨床検査を挙げ、得られた情報と所見を総合して、適切な鑑別診断を行うことができる。	愛媛県内の都市部から中山間地域や島嶼部において、それぞれの地域医療に関心をもち、その課題を具体的に述べるることができる。	社会医学系ならびに臨床医学系で学んだ知識を元に、近年の国内および国際社会の変化に応じて変化した、ないし変化するべき医学・医療のあり方について、自ら収集した情報も合わせて考察し、考えを述べることができる。	白衣授与式での学生宣誓の内容を踏まえ、臨床実習に臨む上で心構えを述べることができる(医療者の一員としての必要な知識と行動の自覚、ダイバーシティーへの配慮、等を含む)。	社会医学系ならびに臨床医学系の科目で学んだ知識を元に、未だに未解明で研究の推進が必要と思われる領域や項目を指摘し、議論することができる。	診断学実習で学んだ医療面接や医療行為を、模擬患者やシミュレータで自分にも周囲にも安全に実施できる。	診断学実習で学んだ医療スタッフ間の連携や声かけの例を指摘し、模擬患者やシミュレータでそれらを実施できる。	診断学実習で学んだ医療スタッフ間の連携や声かけの例を指摘し、模擬患者やシミュレータでそれらを実施できる。
	【各科目の成績】 臨床系科目、preBSL 【共用試験CBTIによる総括的評価】	【各科目の成績】 公衆衛生学、法医学 prePBL	【各科目の成績】 診断学実習、prePBL (医学研究ⅡⅢⅣ、医学英語Ⅱ、他) 【共用試験OSCEによる総括的評価】	【各科目の成績】 診断学実習、prePBL 【共用試験(CBT/OSCE)による総括的評価】	【各科目の成績】 診断学実習、preBSL 【共用試験(CBT/OSCE)による総括的評価】	【各科目の成績】 地域医療学、臨床系科目、preBSL	【各科目の成績】 臨床系科目、prePBL	【各科目の成績】 臨床系科目、prePBL、白衣授与式	【各科目の成績】 臨床系科目、prePBL	【各科目の成績】 診断学実習、prePBL 【共用試験OSCEによる総括的評価】	【各科目の成績】 診断学実習、prePBL 【共用試験OSCEによる総括的評価】	【各科目の成績】 診断学実習、prePBL 【共用試験OSCEによる総括的評価】
3年次、前学期終了時 評価項目を【】内に示す	基礎医学系科目で学んだ知識を統合した上で、それらが臨床医学(疾患の理解)にどのようにつながるか、患者の診療においてどのように活用できるか、さらに今後の医学・医療の発展にどのように寄与し得るかについて、具体的に説明できる。	臨床研究を自ら被検者として体験し、医療倫理について説明することができる。	解剖体慰霊祭に参加し、ご遺族や献体登録者に接する際の適切な服装やマナーについて自ら考え、行動することができる。	分子レベルから集団レベルまでの生命現象を、形態・機能・物質・情報のそれぞれの視点から把握するための科学的手法について、具体例を挙げて説明できる。	健康な人体における各臓器の状態について、形態・機能・物質・情報の視点から総合して理解している。また、健康な状態から疾病に至るプロセスについて、病理学の視点から述べることができる。	医療人としての先輩達の経験談を元に、近年起こりうるライフイベントも考慮して、医師として働くことへの志望や意欲について述べるることができる。	基礎医学系科目で学んだ知識を元に、近年の国内および国際社会の変化に応じて変化した、ないし変化するべき医学・医療のあり方について、自ら収集した情報も合わせて考察し、考えを述べることができる。	解剖体慰霊祭での経験や先輩医療人達との経験談を元に、医師になる者としての自らの強みと改善点を列挙し、よりよく改善するための目標を設定できる。	基礎医学系科目で学んだ知識を元に、未だに未解明で研究の推進が必要と思われる領域や項目を指摘し、議論することができる。	病原生物学を含めた種々の実験器具を、自分にも周囲の学生教職員にも安全に、正しく使用する[ことができる]。BLS(一次救命処置)を正しく実施することができる。	基本的な医学英語を正しく和訳・英訳できる。医学・医療のテーマについて、英語で短い文章(パラグラフ)を書くことができる。	グループでの実習の経験を通じて得ることができた、クラスメートとのチームワークを円滑に行うためのスキルについて、具体的に述べる[ことができる]
	【各科目の成績】 病理学を含む基礎系科目	【各科目の成績】 病理学を含む基礎系科目、医用電子薬理学カフエイン実習	【各科目の成績】 解剖実習、社会と医療解剖体慰霊祭へ出席	【各科目の成績】 病理学を含む基礎系科目(実習を含む)	【各科目の成績】 病理学を含む基礎系科目 薬理学ロールプレイ実習	【各科目の成績】 社会と医療	【各科目の成績】 社会と医療、病理学を含む基礎系科目	【各科目の成績】 社会と医療 解剖体慰霊祭へ出席	【各科目の成績】 社会と医療、病理学を含む基礎系科目	【各科目の成績】 応急措置 基礎医学系の実習	【各科目の成績】 医学英語 【レポートの評価とフィードバック】 多職種合同授業	【各科目の成績】 【自己評価と学生同士の相互評価、それらに対する教員からの形成的評価】
1年次、学年末 評価項目を【】内に示す	分子から集団までを含む生命現象について、その階層性を理解し、それぞれの階層ごとに学んだ医学知識(心理学・行動科学を含む)を整理して述べる[ことができる]	統計学的手法を含む医学研究の方法論について、具体的に説明できる。	共通教育で学んだ内容について、将来医師として働く際にそれらがどのように役立つかを、具体的に述べる[ことができる]	分子から集団までを含む生命現象を理解するために、形態・機能・物質・情報さらに統計学的な観点があることを、具体例を示して説明できる。	自らの日々の健康状態を把握し、記録をつけることで自己管理ができる。	初年次に学んだ内容や実際の医療現場での体験を通して培われた、将来医師として働くことへの志望や意欲について述べる[ことができる]	医学や医療に関するテーマについて、共通教育で学んだ内容も含めて考察し、必要な様式でレポートを書く[ことができる]	初年次に学んだ内容や実際の医療現場での体験を通して培われた、将来医師として働くことへの自覚と責任感について述べる[ことができる]	自らの将来のキャリアについて、初期臨床研修まで見通したプランを立てることができる。	衛生の手洗いや手指消毒、正しいマスクの付け方を日常生活で実践できる。	コミュニケーションにおける言語的要素と非言語的要素について、具体的に説明し、日常生活の中で実践できる。	【自己評価と学生同士の相互評価、それらに対する教員からの形成的評価】
	【各科目の成績】 基礎医学展望Ⅰ＆Ⅱ 分子細胞生物学 医学統計学	【各科目の成績】 基礎医学展望Ⅰ 医学統計学 医学研究Ⅰ	【各科目の成績】 基礎科目、教養科目 【病棟等での早期医療体験実習の評価、自己評価と相互評価】 早期医療体験実習	【各科目の成績】 基礎医学展望Ⅰ＆Ⅱ 分子細胞生物学 【レポートの評価】 医学研究Ⅰ	【各科目の成績】 ころと健康、スポーツ 早期医療体験実習 新入生セミナー実習	【各科目の成績】 新入生セミナー 【レポートの評価とフィードバック】 早期医療体験実習	【各科目の成績】 【レポートの評価とフィードバック】 早期医療体験実習	【各科目の成績】 新入生セミナー 【レポートの評価とフィードバック】 早期医療体験実習	【レポートの評価とフィードバック】 医学研究Ⅰ	【早期医療体験実習やAED実習の評価】 新入生セミナー実習 早期医療体験実	【各科目の成績】 (共通教育の)英語 新入生セミナー 【レポートの評価とフィードバック】 早期医療体験実習	【自己評価と学生同士の相互評価、それらに対する教員からの形成的評価】